

Undercoat Material 下塗材ゼロ

内外壁用
F☆☆☆☆

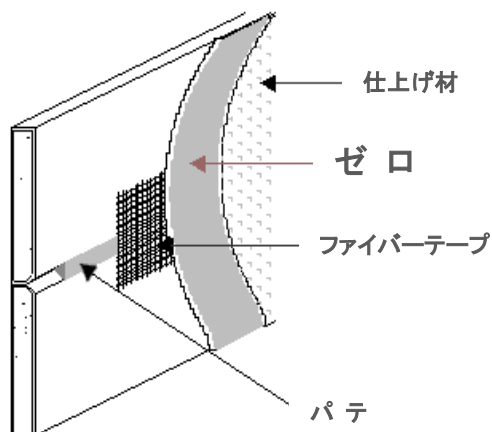
Zero (ガラス繊維混入タイプ)

湿式建材のひび割れ防止対策の下塗り材。
優れた接着力で下地を選びません。

<p>用途</p> <ul style="list-style-type: none"> ●湿式建材の下塗り材として。 ●珪藻土、掻き落とし、モルタルなどの下塗り材として。 ●ビニールクロス、タイル、石の上から直接塗れる リニューアル下塗材として。 	<p>色(全2色)</p> <ul style="list-style-type: none">  Z-1(グレー)  Z-2(白) 																		
<p>ゼロが接着する下地</p> <p>石膏ボード、セメントボード、コンパネ、ベニヤ、鉄板、珪カル板、FGボード、モルタル、コンクリート、塗装、吹付、石材、タイル、ブロック、ALC、ビニールクロス、サイディングボード、アルミ、ステンレス、アクリル板、ガラス、発砲スチロールなど</p>	<p>施工器具</p> <p>角コテ、極薄角コテ(厚0.3mm)、各種コテ、コテ板、かくはん機、バケツ、延長コード、おわんこ、水ヒシヤク、霧吹き、養生材など</p>																		
<p>荷姿及び混練方法</p> <table border="1" data-bbox="207 1435 659 1780"> <tbody> <tr> <td>製品名</td> <td>Zero(ゼロ)</td> </tr> <tr> <td>使用箇所</td> <td>内外壁用</td> </tr> <tr> <td>標準塗り厚</td> <td>約1mm</td> </tr> <tr> <td>荷姿</td> <td>粉末10kg(袋)</td> </tr> <tr> <td>標準加水量</td> <td>約3.2~3.7kg(袋)</td> </tr> <tr> <td>標準施工量</td> <td>約10㎡(袋)</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="207 1809 659 1980"> <tbody> <tr> <td colspan="2">日本建築仕上材工業会登録</td> </tr> <tr> <td>放散等級区分</td> <td>F☆☆☆☆</td> </tr> <tr> <td>登録番号</td> <td>0904008</td> </tr> </tbody> </table>	製品名	Zero(ゼロ)	使用箇所	内外壁用	標準塗り厚	約1mm	荷姿	粉末10kg(袋)	標準加水量	約3.2~3.7kg(袋)	標準施工量	約10㎡(袋)	日本建築仕上材工業会登録		放散等級区分	F☆☆☆☆	登録番号	0904008	<p>混練方法</p> <div data-bbox="820 1469 1358 1601" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>本品を開封してバケツに移し、標準加水量の約80~90%の清水を入れ、ダマが残らないようにマゼラーにて十分攪拌します。</p> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div data-bbox="820 1675 1358 1720" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>残りの清水を加え、作業軟度になるように調整します。</p> </div> <p>※作業中にバケツの中で材料が締まってきた場合は、標準加水量に関わらず加水して、硬さを調整してください。 又、硬くて塗りにくい場合も同様に、標準加水量に関わらず加水して、硬さを調整してください。</p> <p>※水を加えた材料は、夏季2~3時間以内、冬季3~4時間以内に使い切ってください。水を加えた材料は、完全密封しても翌日まで保存できません。</p>
製品名	Zero(ゼロ)																		
使用箇所	内外壁用																		
標準塗り厚	約1mm																		
荷姿	粉末10kg(袋)																		
標準加水量	約3.2~3.7kg(袋)																		
標準施工量	約10㎡(袋)																		
日本建築仕上材工業会登録																			
放散等級区分	F☆☆☆☆																		
登録番号	0904008																		

下地結合部の目地処理・施工手順

石膏ボード下地の目地処理方法



石膏ボード下地 施工手順

▶養生

施工面以外に材料が付着しないように、マスキングテープやマスカーなどで十分に養生を行ってください。



▶継手処理

ファイバーテープ貼り→パテ埋め



▶ゼロの塗り付け

パテが乾燥後、塗り厚が 1mm 程度になるように角コテで材料を塗り付けてください。

※塗り付けの際は、入隅など切れるところまで一気に塗り付けてください。(塗り継ぎ禁止)



▶養生の撤去



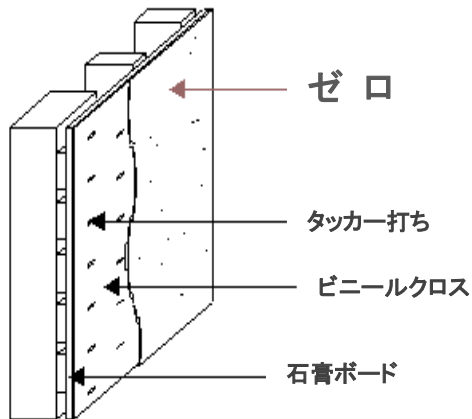
▶乾燥時間:12 時間以上

★作業のポイント

- ベニヤ・コンパネなどの合板下地の場合、アク止め処理が必要です。
養生後、継手処理を行う前にフジワラ化学・水性アクドメール等のアク止め材でアク止め処理を行ってください。
- 珪カル板・FG ボード下地の場合、ゼロ塗り付け時の急激な水引きを押さえるためにプライマー処理が必要です。
NS ハイフレックスやハイモルエマルジョン等の接着剤 10～15 倍液(接着剤 1:水 10～15)を、ローラーやハケなどで、珪カル板や FG ボード面に直接塗布し、塗り付けたプライマーを乾燥させてからゼロの塗り付けを行ってください。
* プライマーは 1 回塗りでは均一に塗れないため、2 回塗りを行ってください。
- ゼロは基本的に塗りっぱなし仕上げです。塗り付けの際は丁寧に塗り付けてください。
但し、仕上げ材の塗り厚が 3mm 以下の場合、塗り付け後タイミングを見計らって平滑になるように角コテで押さえてください。
* 仕上げ材の塗り厚が 4mm 以上の場合、コテ押さえの必要はありません。
* コテ押さえの際は極薄角コテ(厚 0.3mm)を使うと、より平滑に押さえることができます。
[極薄角コテ推奨品] 東京西勤 ゴールデン富士・極薄角コテ(厚 0,3mm) サイズ 240
* コテ押さえの際は清水を入れた霧吹きで水を吹きながら押さえると、作業が容易になります。
- 塗り付けの際は、入隅など切れるところまで一気に塗り付けてください。
時間をおいて途中から塗り継ぐと、塗り継ぎ部分に段差が残りますのでご注意ください。
- 塗り付けたゼロが手で触って乾いていれば、12 時間以上待たずに次の工程に移っていただいて大丈夫です。
但し、手で触って水分を含んでいた場合は、完全に乾燥させてから次の工程に移ってください。
* 塗り付けたゼロを早く乾燥させたい場合は、施工箇所に扇風機をあてると乾燥時間を短縮できます。
[扇風機を使用した場合の乾燥時間] 夏季 1～2 時間、冬季 2～3 時間

ビニールクロス下地 リニューアル施工手順

リニューアル時、既存のクロスに直接塗れるので、
クロスを剥がす必要がありません。



施工手順

▶下地の確認

ビニールクロスの状態の確認

※和紙、布製クロスなど、ビニールクロス以外のクロスに
本製品は使用できません。



▶タッカー打ち

ピッチは 10～20cm 程度に細かく打ちます。

クロスの端・ジョイント部分は、特にピッチを細かく打ちます。



▶ゼロの塗り付け

養生後、水を加えて混練した本製品を塗り付けます。

性能

項目	ゼロ	備考
圧縮強さ(kgf/cm ²)	240	JIS A 6203 に準じる
下地との付着強さ (N/mm ²)	コンクリート	2.41
	ALC	0.74
	石膏ボード	0.34
	珪カル板	0.69
	コンパネ	1.62
	木板	1.51
	御影石・大理石	2.53
	ステンレス	0.74
	ブリキ	0.65
	フレキシブルボード・サイディングボード	1.30
	ガラス	1.36
	プラスチック	0.21
スタイロホーム	0.28	
耐衝撃性	割れ・剥がれ無し	JIS A 6203 に準じる

建築研究所方式引張試験器による
塗り厚:1mm
養生:7日
気温:23℃
湿度:60%
3箇所測定後、平均値算出

ご使用前に

- 天災(極度の地震や台風など)、構造上(地盤の軟弱な建物、揺れを起因する交通量の激しい道路に面した建物、高層ビルの構造など)、木下地(コンパネ・ベニヤなどの合板の乾燥不足による急激な収縮等)、継手処理の不備、下地の結束不良によるあばれ、異種な下地の継手など、本製品には影響がなくても仕上げ材に影響がでてヒビ割れすることがあります。
- 本製品は仕上げ材そのものによるヒビ割れには対応しません。
- 本製品は下地の取付不良などの不具合を補填するものではありません。

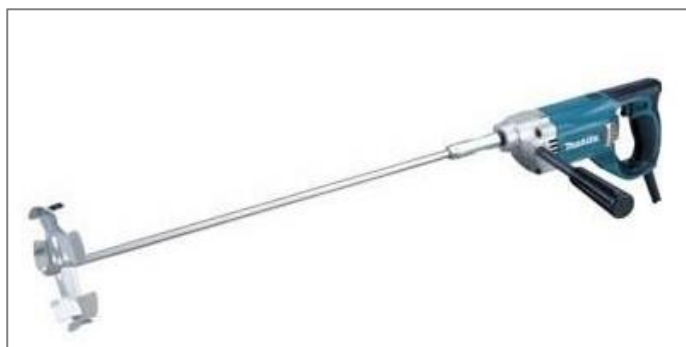
施工上の注意

- 京壁・聚楽壁などの砂壁の上に、本製品は使用できません。
- 和紙、布製クロスなど、ビニールクロス以外のクロスに本製品は使用できません。
- 施工の際は、施工箇所以外に材料が付着しないように、十分に養生を行ってください。
又、施工箇所以外に材料が付着した場合は、速やかに拭き取ってください。
- 水を加えた材料は、夏季2~3時間、冬季3~4時間以内に使い切ってください。
- 乾燥時間は、季節、気候、温度、湿度などによって変わりますのでご注意ください。
- 気温が5℃以下の場合や湿度が高い場合は、施工を見合わせるか暖房が必要になります。
- 道具・衣服についた汚れは、速やかに洗い流してしてください。
- 施工の際は、必ず塗り厚・手順を守って施工してください。

安全上の注意

- 本製品が誤って、目、鼻、口、喉に入った際には速やかに清水で洗浄してください。
また、状況に応じて医師の診断を受けてください。
- 取り扱いの際には、状況に応じて適切な保護具を着用してください。
- 配送や保管にあたってはセメントと同様とし、水濡れ、湿気等には十分ご注意ください。
- 本製品(袋)を乱暴に扱うと、袋が破損して開封してしまうことがあります。
運搬や搬入など取り扱いの際は十分ご注意ください。
- 本製品を廃棄する際は、産業廃棄物として適切な廃棄をしてください。

◆ゼロ混練時のかくはん機の推奨品(マキタ UT1305)



[製造元・販売元]

アース・ジャパン株式会社

東京 〒132-0033 東京都江戸川区東小松川 2-19-9

TEL:03-5879-2246 FAX:03-5879-2247

本社 〒370-0802 群馬県高崎市並榎町 164

TEL:027-386-4561 FAX:027-386-4562

E-mail:info@ea-jp.com URL:www.ea-jp.net

[20220117 改訂版]

©earth japan inc.